

# 2021年度 法科大学院

## 第1期末修者

## 入学試験問題

## (小論文方式)

### 試験時間 80分

#### 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2) この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
- (3) 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4) 解答は必ず【小論文1】の解答は【小論文1】の解答用紙に、【小論文2】の解答は【小論文2】の解答用紙に、記入してください。
- (5) 下書き用紙は回収しません。(解答用紙取り違えの申出には一切応じません)
- (6) 参照は不可となっています。
- (7) 解答用紙の取替え、追加配布はしません。
- (8) 試験問題の内容等について質問することはできません。
- (9) 問題冊子の余白等は適宜使用して構いません。
- (10) 試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。

## [小論文 1]

以下の文章を読み、続く問いに答えなさい。

斜面の上方で二人の男が、小声ながらも後には退けぬといった面持ちで話し込んでいた。下の方では、四人の男たちが唄を歌いながら大樹の根元に斧を打ち込んでいる。その中にはベウニーの姿もあった。斧が木肌に喰い込む音と唄の節回しとが見事に和して心地よい。カウイーは一瞬躊躇いを覚えたが、自らを鼓舞するように言った。

「お父、あんな昔ながらのやり方じゃあ、効率が悪いよ。この森を出りゃ、世界中どこでもチェーンソーを使ってるぜ。速く木を伐れば、彫物の生産数がうんと増える。お父が図面を描いてくれば、おれだって彫れるさ。豊かになれるよ。」

邑人たちは切り倒した樹を適当な長さに割り、それを素材にして、森の奥に棲む熊や鳥や蛇の像を創る。それは全くの感性の業だ。いきなり斧で面取りをし、細部を鑿で整える。

「息子よ、この邑にはこの邑の時間が流れている。木を伐る速さはこれでちょうど良い(1)。おまえは学問をしたいと言って邑を出て行ったが、結局学んだことはそういうことか。ならば、ここにおまえの居場所はない。わしは、ベウニーを次の邑長に推そうと思う。あの男には森の息吹を感じ取る力がある。邑人を守ることができる。いや、邑人だけではないぞ。森の禍は遠く四方八方に及ぶからな。」

カウイーは、むかし父が森の見廻りに連れていってくれたときのことを思い出した。いつもベウニーが一緒だった。あの樹は今すぐにでも伐らないといけない、これはまだ百年は伐れないなどと教えてくれたものだが、まるで興味が湧かなかった。ベウニーのやつは、なぜ、どうしてと盛んに尋ねていたっけ。

「邑長を決める寄合には女の衆は加われないんだろ。今の世の中では、そういうのは男女差別だぜ。」

「長になれるのは男のみというのが邑の定めだ。それゆえ、長を決めるときは、寄合にも出られぬことになっている(2)。だが、それ以外の寄合は違うぞ。邑に十七年住んだ者であれば、十八年目の寄合から参加できる。女も男も対等だ。」

「そうは言っても、根本的に女が・・・」

問1 下線部(1)の発言はどのようなことを意味しているのでしょうか。あなたの考えるところを 400 字程度で記しなさい。

問2 下線部(2)のしきたりがこの邑で支持され存続してきた要因について、あなたの考えるところを 600 字程度で記しなさい。

## [小論文2]

以下の文章は、朝日新聞の社説（2020年6月14日）からのものです。

この文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

解答は解答用紙〔小論文2〕に記入してください。小論文2では、字数の指定はありません。

解答の際には、問いの番号を明記してください。

問1 レジ袋についての亀岡市の条例は、7月から義務づけられるプラスチック製レジ袋の有料化と、どのような点が異なるか。記事に基づいて説明しなさい。（10点）

問2 上記の社説が、レジ袋についての亀岡市の条例を取り上げた理由はどこにあるか。記事に基づいて説明しなさい。（10点）

問3 レジ袋についての取り組みにより、プラスチックごみを減らす方策には、どのような限界があるか、記事に基づいて説明しなさい。（10点）

問4 プラスチックごみにはどのような問題があり、それを減らすためには他にどのような方策があるか、記事に基づいて説明をした上で、あなたの考えを記載しなさい。（20点）